

# 特別会計

特定の事業を実施するために、一般会計と切り離して運営しているのが特別会計です。  
大磯町では、平成19年度では4つの特別会計があり、町民生活に欠かすことのできない大切な事業を担っています。

## ◇決算の状況

### 国民健康保険事業

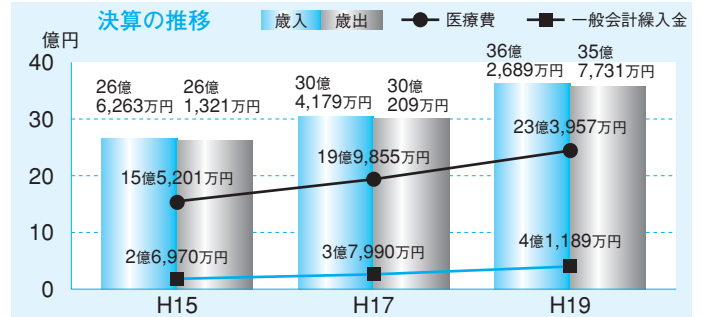
歳入決算額	対前年度伸率(%)	歳出決算額	対前年度伸率(%)
36億2,689万円	10.4	35億7,731万円	9.4

#### ～国民健康保険事業特別会計とは～

国民健康保険事業特別会計は、職場の健康保険加入者及び生活保護受給者以外の人が加入する保険制度で、万一の病気やけがに備え加入者が保険税を出し合い、医療機関にかかるときの医療費の補助などに充てる事業の会計です。

#### ～ポイント～

ここ数年、医療費が伸び続けています。そのため、一般会計からの繰入金が増加しており、一般会計を圧迫している状況です。保険税の定期的な見直しや、健康普及事業などにより医療費を抑制するなど、健全な運営に努めています。



### 老人保健

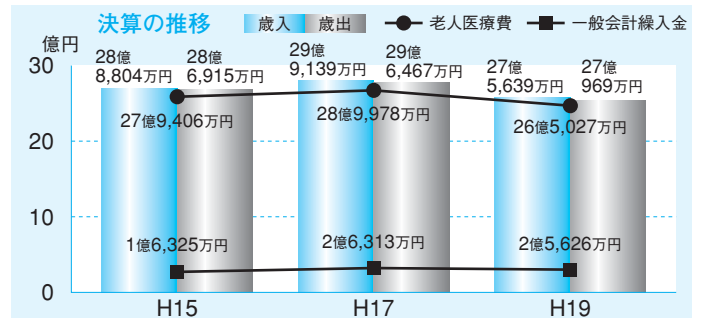
歳入決算額	対前年度伸率(%)	歳出決算額	対前年度伸率(%)
27億5,639万円	△0.2	27億969万円	△1.8

#### ～老人保健特別会計とは～

老人保健特別会計は、75歳以上（一定の障害のある人は65歳）の高齢者が病気になっても安心して医療を受けられるように、国民みんなで医療費を出し合い支えあう事業の会計です。

#### ～ポイント～

平成17年度までの対象者数の伸びもほぼ横ばいとなり、医療費も減少傾向にあります。この会計は、平成20年度に新設された後期高齢者医療特別会計に移行しています。



### 介護保険事業

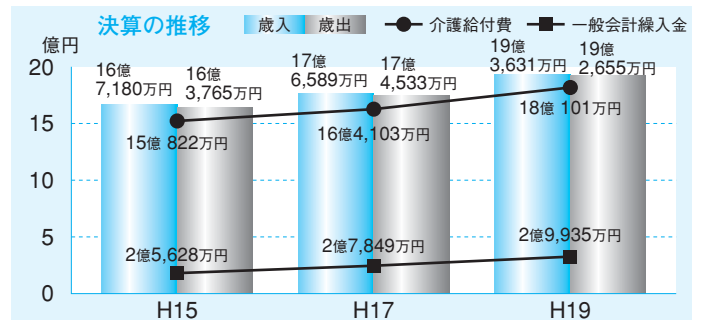
歳入決算額	対前年度伸率(%)	歳出決算額	対前年度伸率(%)
19億3,631万円	6.1	19億2,655万円	7.3

#### ～介護保険事業特別会計とは～

介護保険事業特別会計は、65歳以上の高齢者及び40歳～64歳で特定疾病により介護が必要と認められた方に介護サービスを提供し、すべての高齢者に対し介護予防事業や生活支援を行う事業の会計です。

#### ～ポイント～

ここ数年の介護対象者の増加により、給付費が伸び続けています。そのため、一般会計からの繰入金が年々増となっています。3年ごとの介護保険料の見直しや、介護予防事業などによる介護給付費の抑制など、健全な運営に努めています。



### 下水道事業

歳入決算額	対前年度伸率(%)	歳出決算額	対前年度伸率(%)
12億7,739万円	20.3	12億3,675万円	22.9

#### ～下水道事業特別会計～

下水道事業特別会計は、清潔で快適な生活環境を築くためだけでなく、河川や海などの水質汚濁の防止や、大雨による浸水の防除などの役割を担う下水道を整備する事業の会計です。平成19年度末の人口普及率は44.1%、接続率は74.1%です。

#### ～ポイント～

下水道の整備を進めているため、歳出総額の50%以上を建設事業費で占めています。その財源は本来、自主財源である下水道使用料などでまかなわなければならない状況です。健全な事業運営のため、下水道使用料の見直しなど、自主財源の確保に努めています。

